



山 行 報 告 書

山行報告者：天野

山 域・山 名：雲ノ平(2550m)～高高原～鷲羽岳(2924m)～三俣蓮華岳(2842m)～黒部五郎岳(2839m) (富山県富山市, 長野県大町市, 岐阜県高山市)	
入山日又は期間：平成30年8月26日(日)～30日(木) 前夜泊 3泊4日	
プラン担当：天野	 
参 加 者 L：天野 記： 報： 男：1名 計：1名	
天候 晴れ・曇り・雨	
月 日()	集合時間： 午前 時 集合場所：
8月26日(日)	自宅(所沢 IC～立山 IC)⇒17:00 折立 車中泊
8月27日(月)	折立 5:05→9:04 太郎平小屋 9:50→11:51 薬師沢小屋→15:30 雲ノ平山荘(宿泊)
8月28日(火)	雲ノ平山荘 6:33→9:30 高高原山荘(宿泊)
8月29日(水)	高高原山荘 4:00→7:00 岩苔乗越→7:40 ワリモ岳→8:20 鷲羽岳→9:22 三俣山荘→10:44 三俣蓮華岳→12:21 黒部五郎小舎(宿泊)
8月30日(火)	黒部五郎小舎 3:50→6:16 黒部五郎岳→9:39 北ノ俣岳→11:18 太郎平小屋 12:00→14:25 折立⇒自宅
装 備	個人装備：ツェルト、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、スパッツ、コンパス、地図、ストーブ、ストック 個人食：朝食・昼食、非常食
感 想	<p>今回は学生時代に山登りを始めるきっかけとなった雲ノ平と黒部五郎のカールをもう一度見たくて30年ぶりの黒部源流である。1日目自宅より車で所沢 ICから立山 ICまで高速を利用し折立で車中泊、いつもの1人宴会。2日目4時30分起床、空を見上げると雲の隙間より若干の星空、5時折立を出発。途中ガスったり晴れたりして9時太郎平小屋に到着、雨が降り始めたので小屋の軒下で朝食。しばらく様子を見ると天候が少し回復、小屋の情報だと明日は雨とのこと、中止するか迷いながら今日の宿泊予定の薬師沢小屋に向かう。小屋に着く頃には晴れ間に変った為今日中に雲ノ平に入ろうと決断、宿泊をキャンセルし小屋の前にある流しの冷えたビールを横目につり橋を渡り急登に入る。余りにも苦しい登りに予定変更を後悔。登りきってアラスカ庭園の木道からの360°の展望に初めて訪れた時の感動が蘇る、来て良かった。数年前に立て替えられた雲ノ平山荘に宿泊、夕食後小屋の主人の講演とスライドショー。</p> <p>3日目朝から雨、今日は高高原までなのでゆっくりと支度をし出発、9時30分高高原山荘に到着。荷物を小屋に預け露天風呂に直行、雨の露天風呂も中々風情がある。</p> <p>この小屋はランプの宿で、発電機の音も無く静かである。気象情報も廊下に貼られている天気図。日本海から富山を通り太平洋まで前線が停滞、天候が安定しない。明日は雨か！</p>

感想

もう少し太平洋高気圧にがんばってもらって前線を押し上げてくれないか期待するのみである。4日目曇り若干の霧雨、雨具を着けず4時出発。岩苔乗越に着くころには雨に変わる急いで雨具を着け完全装備でワリモ岳に向かう。ワリモ岳、鷲羽岳頂上に着くころには暴風雨になる。写真を1枚撮り慎重に三俣山荘に下る。途中晴れ間が見え始めると鷲羽岳を水平に巻いている伊藤新道がくっきり見えた、黒部の山賊たちの夢の跡かな？

9時過ぎに三俣山荘に到着。2階の展望食堂でサイフォンで入れたコーヒーが飲めるが雨具を脱ぐのが面倒なので小屋の前で少し休憩し三俣蓮華岳に向かう。また天候が怪しくなってきたやはり頂上は暴風雨、あきらめ気分で黒部五郎小舎に下山すると巻道合流を過ぎたところから晴れ間、黒部五郎岳の全景と雲ノ平が一望でき眼下に赤い三角屋根の小舎が見え始めた。

昼過ぎに到着、小舎の前のテーブルで昼食を取り黒部五郎岳を見上げながらビール。明日の予報は曇り。5日目濃霧の中を4時前に出発、ヘッドランプの明かりを頼りにペンキマークを探しながら登る。視界は数メートル、次のペンキマークが見当たらないと非常に不安になる。

中腹に差し掛かった時、一時ガスが晴れカールの岩稜地帯が目の中に飛び込んできた。幻想的ですばらしい景色である。6時過ぎ頂上、晴れ間は見えるが遠望は利かず、少し待ったが好転せずあきらめて下山、北ノ俣岳までガスの中、頂上を通過してしばらくすると雷鳥3羽に遭遇、急ぎカメラに収める、ラッキー。また晴れてきた最後に雲ノ平と黒部の源流、周囲の山々を見ながらの爽快な稜線歩きで12時に太郎平小屋に到着、昼食を取り足早に折立まで下山。

今回は本当に目まぐるしい天候ではあったが当初の目的の雲ノ平と若干ではあるが黒部五郎岳のカールを拝めたことで良しとする。

9/1から越中八尾の風の盆が始まる、もの悲しげな胡弓の音色と哀愁のあるおわら節が聞こえてきそうだ、もちろん編み笠を目深にかぶった女性の踊り子の姿も・・・・。